



サステナブル・ファイナンスの基礎

東京国際金融機構主催 みんなの金融セミナー
2022年10月8日

インベスコ・アセットマネジメント株式会社
投資戦略部
内 誠一郎 Seiichiro.uchi@invesco.com

目次

はじめに

サステナブル・ファイナンスとは

ESG投資の手法

気候変動とダイバーシティ

まとめ



はじめに



インベスコについて

- インベスコは、米国アトランタに本社を構え、世界25ヶ国以上に拠点を置き、8,000名強の人員を擁し、世界120か国のお客様から188兆円以上を運用している世界有数の資産運用会社です。
- 1935年の設立以来、資産運用に特化した独立系運用会社です。
- ESG投資には、1980年代から取り組んできた実績があります。

出所：インベスコ、2022年6月末時点。2022年6月末時点の運用資産残高は1.4兆米ドル。
為替レートは135.855円/米ドルで換算、WMOイターのレートに基づく。

インベスコのESG投資を支える柱



パートナー

**素晴らしい投資体験を通じて、
人々の人生をより豊かなもの
にする**

人々が豊かな生活を送るために、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮した企業経営が重要になります



顧客志向

**高い専門性や深い洞察、豊
富な経験をもとに、顧客に最
適なソリューションを提供**

ESG投資が意味するものは、お客様ごとに異なります

サステナブル・ ファイナンスとは



サステナブル・ファイナンスとは

投資において環境・社会・ガバナンスを考慮することにより、持続的な経済活動への長期投資につながる*

● ESG(環境/社会/ガバナンス)投資

- 責任投資やSRIとも言われる
- 環境や社会に配慮した企業への投資を通じて世の中のサステナビリティを高める

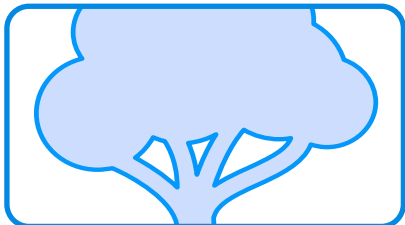
● SDGs (持続的開発目標)

- 2030年までに「持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現する」ため、国連が17の目標を設定
- 主に、企業に対して呼び掛けられた



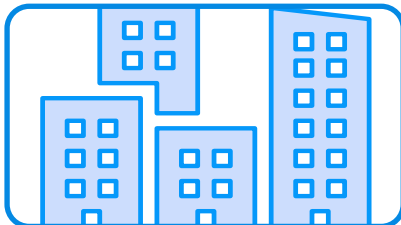
* EU等による
図はGPIF資料より

多くのESG課題が企業活動に関連



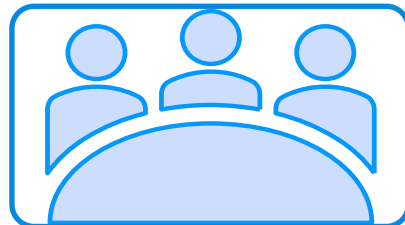
環境

- 気候変動／地球温暖化
- 生物多様性
- 廃棄物
- 化学物質使用



社会

- ダイバーシティ
- 人権／児童労働
- プライバシー
- 労働事故



ガバナンス

- 取締役会の構成
- 経営者報酬
- 会計
- 不正行為

「環境」以外にも、多くのESG要因がある

ESGを考慮しない経営には問題が多い

$$\text{（利益）} = \text{（売上高）} - \text{（費用）}$$

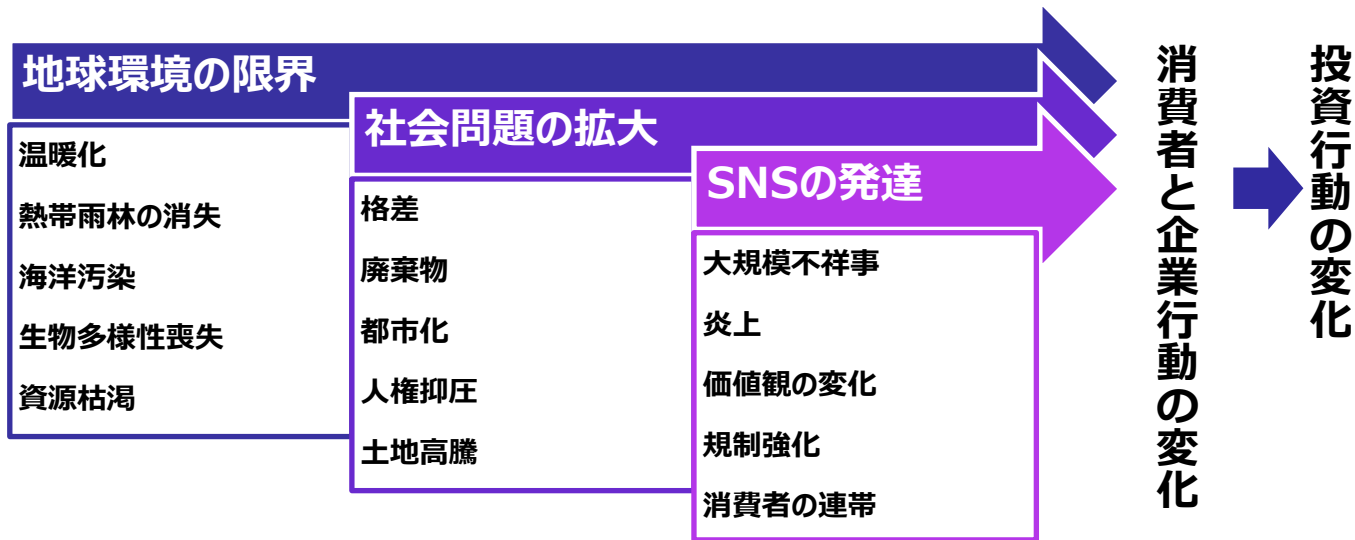
短期的な利益を重視すると、様々な社会問題が発生しかねない

乱開発
資源の乱獲
誇大広告
個人情報悪用

低賃金
違法労働
人権侵害
ゴミ投棄
下請けイジメ
老朽設備

サステナブル・ファイナンスでは、単純に利益が大きいだけでは良い企業とは評価しない

ESG投資が拡大する背景

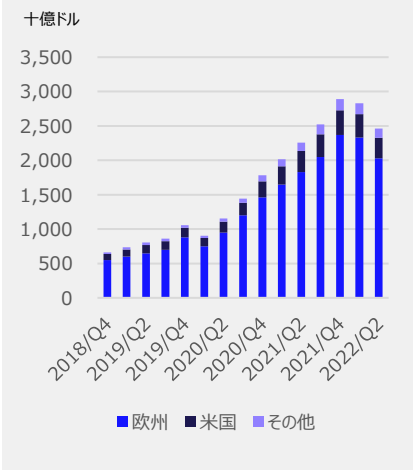


すでに消費者や企業は、サステナブルな社会を目指して変わっている。金融や投資でもサステナビリティを重視することは、ごく自然な流れ

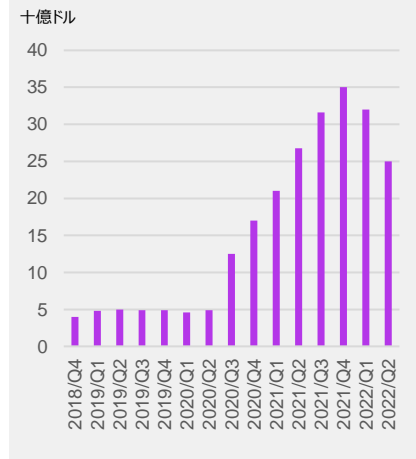
ESG投資の高まり

- 今年6月末時点で、世界のESG投資残高は約333兆円（日本は約3.3兆円）。3月末より13.3%減少
- 4～6月の世界の資金流入額は4.3兆円強で、前期比で62%減少

世界のESG投資額推移



日本のESG投資残高推移

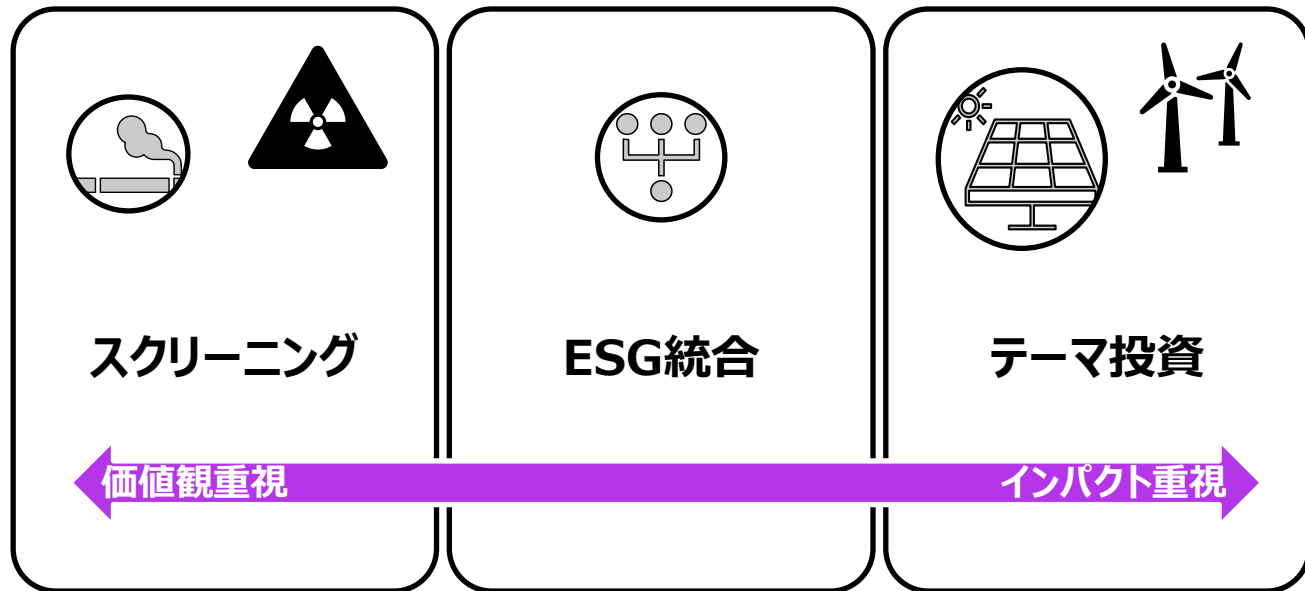


今年ESG投信への資金流入が減速している理由は、主に相場要因（戦争や物価高、金利上昇等への懸念）

ESG投資の 手法



代表的なESG投資手法



価値観に合わない企業には投資しない

企業評価情報のひとつとしてESGを活用

気候変動などの課題を解決する企業に投資

代表的なESG投資手法（詳細）

タイプ ^o	説明	注意点
スクリーニング系	<ul style="list-style-type: none">• 特定の産業(タバコや非人道的兵器等)に投資しない• ESG評価の高い企業だけを選別する（ESG指数）	除外される企業からのリターンを得られない
ESG統合	<ul style="list-style-type: none">• 企業評価の一要素としてESG情報を活用する	ESG情報をあまり活用していないかもしれない
テーマ投資	<ul style="list-style-type: none">• ESG課題を解決する事業（成長機会）に投資する	銘柄数が少なく、運用実績が短い傾向

ESG投資から期待されること



気候変動と ダイバーシティ



気候変動は別格

- 気候変動は**科学的な問題**

- 私たちは、地球が吸収できる以上の温暖化ガスを排出している

- 他のESGRリスクと異なり、Deadlineが**科学的に存在すること**に最大の特徴がある

- 2050年までにカーボン・ニュートラル社会を実現しないと「**大変なこと**」になることが、現時点で科学的に分かっている

気候変動については、すでに「持続可能性」が絶たれている状態なので、私たち全員で解決しなければならない

そして、多様性／ダイバーシティ

- **ダイバーシティに対する一番多い反論：**

「人の採用やチーム構成には、能力を最優先すべき」

“「能力」より「多様性」を優先することは絶対に間違っている”

“能力に基づく選考の結果、多様性に欠けるチームが出来上がったら、それは問題ない。なぜなら、最も優れたチームができあがったはずだから”

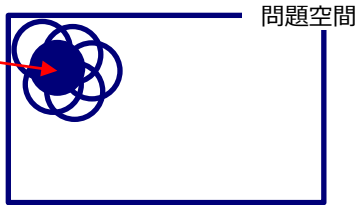
もっともな意見に思えるが、実はこれは間違っている

なぜダイバーシティを優先するべきなのか

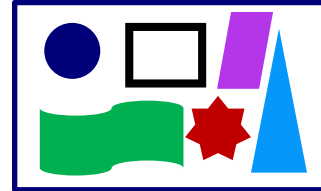
● 複雑で変化の速い環境では、多様性こそが競争力になる

- 今は変化が速くて、そもそも問題を把握すること自体が難しい時代
- 直線的でシンプルな問題には能力主義で行ける（リレー競争や大量生産大量消費など）

日本人
男性
有名大卒
文系



限られた視点では、問題空間を把握できない



多様な視点があるほど問題空間を隙間なく把握できる

**「問題を正確に把握する」
これが多様性がイノベーションを生み出す理由**

参考文献：「多様性の科学」
マシュー・サイド著

まとめ



まとめ

- ① ESG投資は、あくまでも資産運用の手段であって、リターンを度外視したものではない。長期的資産形成のための手法
- ② 既に消費者はサステナビリティを重視し始めており、特に若い世代ほどその傾向が高いと言われる。これからは金融でもサステナビリティが重視される
- ③ 投資家がサステナビリティを考慮すると企業も変わる。その結果、世の中も変わる

「ESGか、利益か」どちらかひとつを選ぶわけではない。環境や社会課題を考慮したうえで、経済的利益も求めるのがサステナブル・ファイナンス

ディスクレーム

本書は情報提供を目的として、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（以下、「弊社」といいます。）が作成したものです。本書は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本書に記載された一般的な経済、市場に関する情報およびそれらの見解や予測は、いかなる金融商品への投資の助言や推奨の提供を意図するものでもなく、また将来の動向を保証あるいは示唆するものではありません。本文で詳述した本書の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。当資料について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会